

## 「都立図書館実行プラン to 2020」の概要

■ 東京2020オリンピック・パラリンピック  
関連情報を始めとした「東京」情報を  
国内外に広く提供・発信する。□2020年に向けた機運醸成、様々な  
活動記録の収集・発信

- ・中央図書館1階3展示コーナーの利用促進
- ・講演会等イベントの充実
- ・オリンピック・パラリンピック関係資料の収集・活用
- ・Webコンテンツ「東京オリンピック・パラリンピックの世界（仮称）」の充実
- ・区市町村立図書館との連携事業実施、情報共有

□世界に開かれた都市、首都東京の図書館  
としての「東京」情報の集積・提供・発信

- ・「東京」をテーマとした講座・セミナー等の充実（利用者参加型事業の新規実施、都内関係機関と連携した事業実施）
- ・予約制レファレンスの導入（東京関係）
- ・3展示コーナー及び都市・東京情報コーナーのリニューアル
- ・東京関係を中心とした音声・映像資料の活用
- ・江戸・東京関係資料のデジタル化及び公開の促進
- ・江戸・東京関係資料ポータルページの整備

■ 東京に集う人々の多様な知的活動や  
「学び」を支援する。

## □レファレンス機能の強化

- ・潜在的利用者層への大規模アンケートの実施及び事業への活用
- ・ターゲット明確化による中央図書館の重点的情報サービスの展開

## □利用者のアクティブな学びの支援

- ・東京マガジンバンクカレッジ関連事業の発展
- ・大学のゼミをターゲットにした学びの支援
- ・図書館ツアーの充実

□外国語資料を活用したサービス・支援の  
充実

- ・外国語資料の集中配架
- ・英語による外国人向けガイダンスの定例開催
- ・外国語資料検索のための利便性の向上
- ・国際交流団体等との連携事業実施

## □学校への支援拡充

- ・支援体制の整備
- ・学校、学校関係部署との連携強化
- ・校外学習パッケージを活用した支援の充実
- ・出前型学校支援の拡大（学校出張講座）
- ・学校支援ホームページの充実

## □都政への支援拡充

- ・政策立案支援サービスの広報強化
- ・東京都が設置する図書館等との連携の活性化

■ 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、  
より良い利用環境を構築する。

## □館内施設の有効活用

- ・「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた拠点空間の提供（休館日を利用した校外学習受入れ、備品等整備）
- ・展示スペース等貸出の促進

## □学びの空間、施設、設備の充実

- ・劣化度調査に基づく施設整備
- ・閲覧机・椅子の段階的整備
- ・利用者用トイレ等の整備

## □多様な情報源へのアクセス環境整備

- ・電子書籍検索の機能の向上（OPACや統合検索での電子書籍データ検索、ディスカバリ・サービス導入の検討）
- ・電子書籍の利用者所有端末での館内利用

## □利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

- ・職員育成基本方針の改定、新方針に基づく実施
- ・各分野における専門的資質の向上
- ・運営体制の見直し

## 広報活動を刷新し、積極的な情報発信やPRを行う。

## □新たな手法による情報発信強化

- ・館外イベント等出展先開拓による広報
- ・図書館利用動画コンテンツ多言語版の作成・発信
- ・「顔の見える」広報の実施（インタビュー記事発信等）
- ・利用者とのつながりによる広報の実施
- ・外国人をターゲットにした広報の実施

## □広報活動の枠組や体制の整備

- ・統一的なイメージのもとでの広報の実施（コアメッセージ、ロゴ作成等）
- ・広報活動の運営枠組の整備
- ・広報体制の強化（複数アカウントによるSNS発信等）
- ・都立図書館ロケーションボックスの設置